

## 理研シンポジウム 理化学研究所エンジニアリング・ネットワーク・プロジェクト 「超微細画像診断による高速かつ正確な画期的細胞診の確立」

## 超微細画像データを活用 健康科学の新時代

2017年9月29日(金)13時~(受付:12:30~)

理化学研究所融合連携イノベーション推進棟 (IIB) 8階 講義室

(神戸市中央区港島南町6丁目7-1)

13:00-13:05 開会の挨拶

臨床におけるイノベーション課題 13:05-14:05

超微細画像による臨床応用 村川泰裕(理研)、小林紀郎(理研)、久米慧嗣(理研

血液悪性疾患における細胞診の現状 松井宏行(京都大学)

腎臓疾患における電顕診断の重要性と限界 柳田素子(京都大学)

イメージング(A)組織・細胞 4:05-14:45

> 電子顕微鏡技術の最前線 須賀三雄(日本電子)

細胞から病気を診る~電顕病理学への招待~ 前田光代(日本電子・理研)

イメージング(B)臓器・個体 14:45-15:25

X線による軟組織イメージング:マウス胎生致死表現型解析の新展開 田村勝(理研

RIイメージングの新展開 本村信治(理研)

15:25-15:50 休憩

15:50-16:20 特別セッション~放送・映像技術の革新的医療応用~

「8Kスーパーハイビジョン技術とその医療応用」

谷岡健吉(一般社団法人メディカル・イメージング・コンソーシアム)

画像データ解析・Al・ものづくり 16:20-17:20

画像認識の最前線 原田達也(東京大学・理研)

生体試料の切削・観察と画像処理による現象解析 横田秀夫(理研) 画像データが可能にする生命科学の新たな展開 大浪修一(理研)

医療情報、健康科学、オープンイノベーション 17:20-18:30

オントロジー工学に基づく医療知識の体系化 古崎晃司(大阪大学)

疲労科学から健康増進科学へ〜個別健康最大化を目指して〜 水野敬(理研) 日本における医療イノベーションの現状 宇佐美篤(東京大学エッジキャピタル)

18:30-18:40 クロージング 片岡洋祐(理研)

懇親会(融合連携イノベーション推進棟 19:00-6階サロン)

## お申し込み

右記サイトより(定員 100 名程度) 参加費は無料ですが、懇親会参加を 希望される方は別途費用が必要です



問い合わせ先

理化学研究所(担当:村川、小林、久米

Email: en-leukemia-sympo170929@ml.riken.jp